

2023年4月19日  
 日本郵便株式会社  
 信越支社

## 新潟市との連携における新津郵便局の風景入り日付印の使用

日本郵便株式会社信越支社（長野県長野市、支社長 菊地 元／以下、「日本郵便」）は、2019年に締結した新潟市との包括連携協定に基づき、新津郵便局の風景入り日付印を、新潟市秋葉区内で使用されているマンホールをデザインしたものに變更して使用します。


## 1 包括連携協定について

地方創生の推進および新潟市民の暮らしの満足度向上を寄与するため、新潟市と日本郵便で協力して新潟市の魅力を発信していくことを目的としています。

このたび、普段は地中に埋まっていた見えない下水道が、新潟市民にとって身近な親しみやすい存在になってほしいという願いを込めて、マンホールのデザインを新津郵便局の風景入り日付印に採用しました。

## 2 風景入り日付印の内容

|                |  |
|----------------|--|
| 使用開始日          | 2023年5月5日（金・祝）   |
| 使用場所<br>（営業時間） | 新津郵便局 郵便窓口およびゆうゆう窓口<br>〒956-8799 新潟県新潟市秋葉区新津本町2-4-32<br>【郵便窓口】平日 9:00～19:00、土・日・休日 お取り扱いしません<br>【ゆうゆう窓口】平日 8:00～19:00、土曜 8:00～18:00<br>日曜・休日 9:00～15:00            |
| 意匠説明           | 新潟市秋葉区にあるマンホールの蓋を風景印の印影デザインに採用しています。「花とみどりと石油の里」のキャッチフレーズを添え、羽越本線、信越本線、磐越西線の3本の路線が交差する鉄道の要所である「鉄道のまち」をイメージした「蒸気機関車」、新津油田の「油井やぐら」、全国屈指の生産地であり旧新潟市の花「サツキ」をデザインしています。 |

|                  |  |
|------------------|--|
| <p>図 案</p>       |  <p>直径：36mm</p> <p>押印色：とび色</p>   |
| <p>郵 頼 締 切 日</p> | <p>2023 年 4 月 28 日（金） ※必着</p>  |
| <p>郵 頼 申 込 先</p> | <p>〒956-8799 新潟県新潟市秋葉区新津本町 2-4-32<br/>新津郵便局 『風景印』記念押印担当 あて</p>   |
| <p>備 考</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新津郵便局で現在使用している風景入り日付印は、2023 年 5 月 4 日（木・祝）の 15:00 をもって使用を終了します。<br/>なお 2023 年 5 月 4 日（木・祝）は、ゆうゆう窓口付近において旧意匠の風景印特設窓口を開設（開設時間：10：00～12：00）します。</li> <li>・ 新意匠の風景入り日付印使用開始の 2023 年 5 月 5 日（金・祝）は、ゆうゆう窓口付近において風景印特設窓口を開設（開設時間：10：00～12：00）します。</li> </ul> |

### 3 郵頼対応

- ・ 郵頼のお申し込みは、項番 2 の「郵頼申込先」に余裕をもって行ってください。
- ・ お申し込みの際は、押印の指示内容（押印の位置など）、お客さまの電話連絡先をご明記いただき、切手を貼付した返信用封筒を必ず同封してください。
- ・ 為替（普通為替、定額小為替など）によるお申し込みはお受けできません。

以 上

|  |  |
|--|--|
| <p>【報道関係の方のお問い合わせ先】<br/>日本郵便株式会社 信越支社<br/>経営管理部（総括・広報担当）<br/>電話：（直通）026-231-2239<br/>（F A X）026-231-2227</p> | <p>【お客さまのお問い合わせ先】<br/>日本郵便株式会社 信越支社<br/>郵便・物流営業部（窓口営業担当）<br/>電話：（直通）026-231-2304</p> |
|--|--|